

平成 15 年 12 月 17 日

各 位

会社名 **株式会社モスインスティテュート**  
代表者 代表取締役社長 林 一郎  
(コード番号：2316 大証ヘラクレス)  
問い合わせ先 取締役経営管理部長 阿比留 喜問  
TEL 03-5623-7207

会社名 **アンジェス エムジー株式会社**  
代表者 代表取締役社長 山田 英  
(コード番号：4563 東証マザーズ)  
問い合わせ先 社長室マネージャー 林 毅俊  
TEL 03-5730-2753

## モスインスティテュートとアンジェスエムジー、ゲノム創薬のための臨床試験対応システム を共同開発することで基本合意

株式会社モスインスティテュート（以下、モス）とアンジェス エムジー株式会社（以下、アンジェス）は、ゲノム創薬等の先端医療分野におけるトランスレーショナル・リサーチの実施環境を充実させるため、相互の技術、ノウハウを融合した新しい臨床試験対応システムを共同開発することにより、迅速かつ高品質のデータが創出されるインフラを構築することで基本合意いたしました。

ヒトゲノム配列の解読が終了し、これを基に画期的医薬品や革新的技術の開発を目指す研究が急速に進展しています。ゲノム創薬は、その時点の科学的技術の進歩を踏まえ、合理的で適切な品質、安全性、有効性に関する評価が求められ、特に、患者個々の安全性データについては、より厳格な管理が求められています。このことより、従来の医薬品開発におけるデータ収集以上に、科学的なデータベースと効率的な臨床データの収集環境を整備する必要があります。

アンジェスは、ゲノム創薬分野におけるバイオベンチャーのリーダーとして、来年早々にも第三相臨床試験を開始いたします。一方、モスは EDC のリーディングカンパニーとして、EDC 等の IT 技術を活用し全国規模での臨床試験を展開しています。

この両社の技術とノウハウを融合することにより、今後、医薬品開発の主流となることが予想されるゲノム創薬が、安全かつ厳格に管理され、より高品質の臨床試験データを生み出すための先進的かつ画期的な臨床試験環境を提供いたします。

## 用語集

### 【ゲノム創薬】

解析されたヒトゲノム情報をもとにして得られた知識を活用して、病気や病態に効果を示す新しい医薬品を論理的に研究開発しようとする取り組み。

### 【トランスレーショナル・リサーチ】

大学や研究機関で得られた基礎的な研究成果をヒトに応用し、高度先進医療への橋渡しをする研究のことをいいます。たとえば、遺伝子治療、再生医療、細胞医療、ゲノム創薬などの研究成果がその対象と考えられます。すなわち、先端医療の早期臨床応用といえます。

### 【EDC サービス】

臨床試験、市販後調査などオンタイムで情報を収集するニーズは日増しに高まっています。MOSSのEDC (Electronic Data Capturing) サービスは、医療機関に専用の端末を提供し臨床試験のデータエントリを容易に実現します。実現方式においては、数多くのソリューションを用意し医療機関の報告書作成、製薬会社のデータ処理等、双方の負担を軽減するサービスです。e-monitoring サービスとの組み合わせにより、更なる効果を発揮します。

## 会社概要

株式会社モスインスティテュート (MOSS Institute Co.,Ltd.) <http://www.moss.co.jp/>

本社：東京都中央区日本橋人形町三丁目8番1号

代表取締役社長：藤田 剛

設立：1995年8月

資本金：488百万円(2003年11月10日現在)

従業員数：119名(2003年11月末現在)

売上高：1,260百万円(2003年7月期)

事業内容：ITによる臨床試験データ管理

アンジェス エムジー株式会社 (AnGes MG, Inc.) <http://www.anges-mg.com/>

本社：大阪府豊中市新千里東町一丁目4番2号

代表取締役社長：山田 英

設立：1999年12月

資本金：4,770百万円(2003年11月末現在)

従業員数：62名(2003年6月末現在)

売上高：1,794百万円(2002年12月期)

事業内容：遺伝子医薬の研究開発

以 上